
R5 ICT活用例 「ロイロノート・スクール」



群馬県立聾学校

ロイロノート・スクールの実践

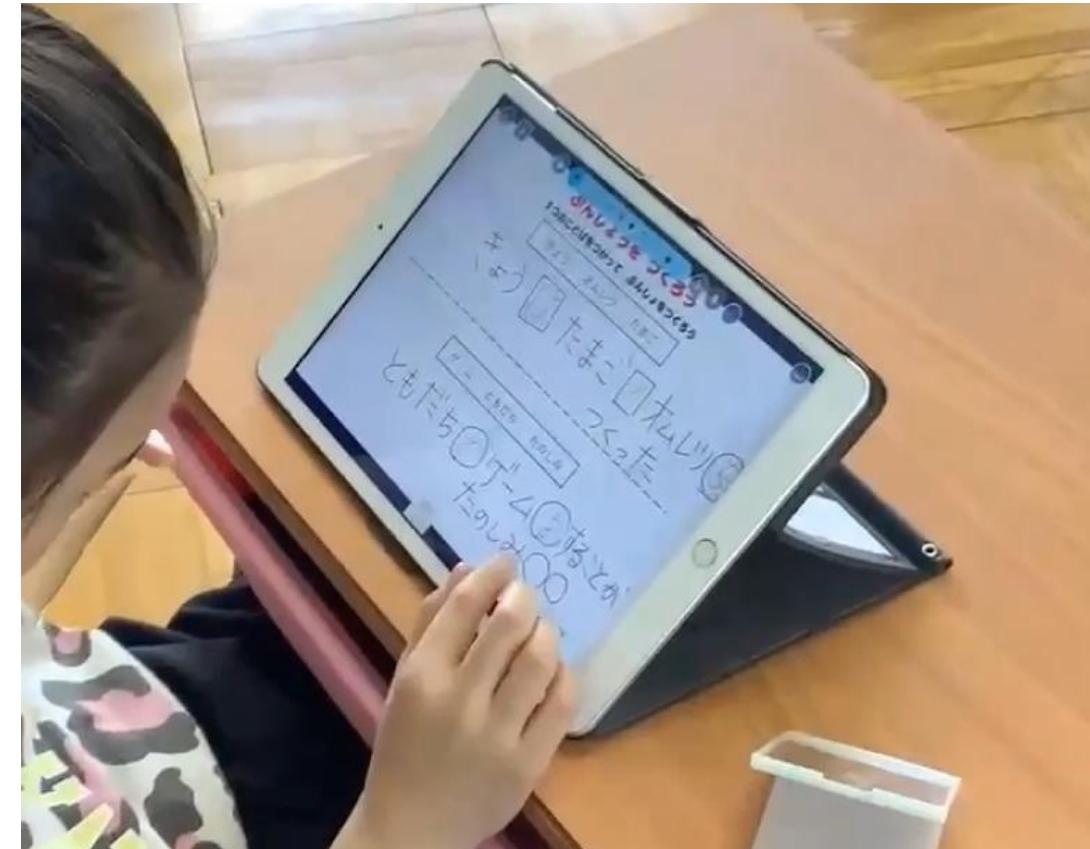
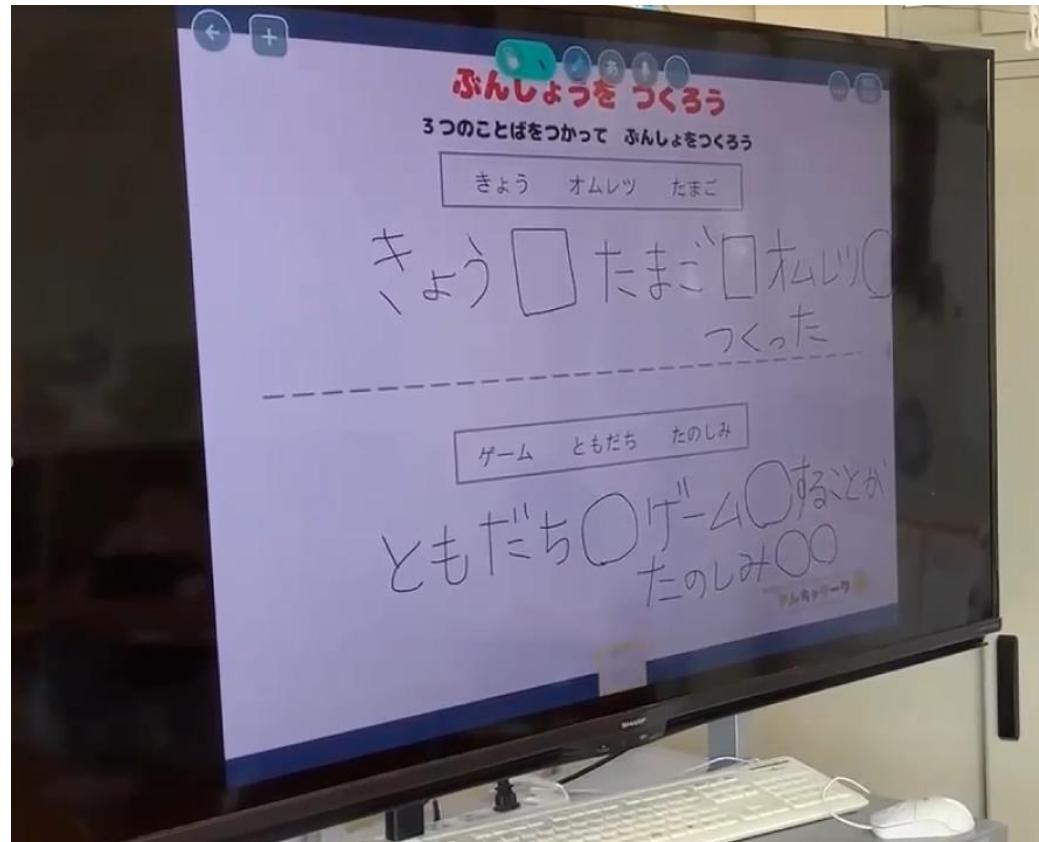


カードやPDF、写真、動画をつなげてプレゼン

カードの中にカードを入れて組み合わせたり、カードをつなげてスライド完成。短い時間で発表できます。

ロイロノート・スクールの実践

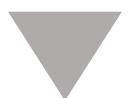
「カード」に記入してデータ送信、発表



ロイロノート・スクールの実践

生徒同士が「カード」で意見を共有

自分の考えをカード
にまとめてデータで
提出



リアルタイムで意見
の共有

The screenshot shows a mobile application interface for 'Roiro Notebook School'. At the top, there's a header bar with the date '13:57 6月17日(金)' and battery level '98%'. Below the header, the title '生徒同士が「カード」で意見を共有' is displayed. The main area is a grid-based discussion board.

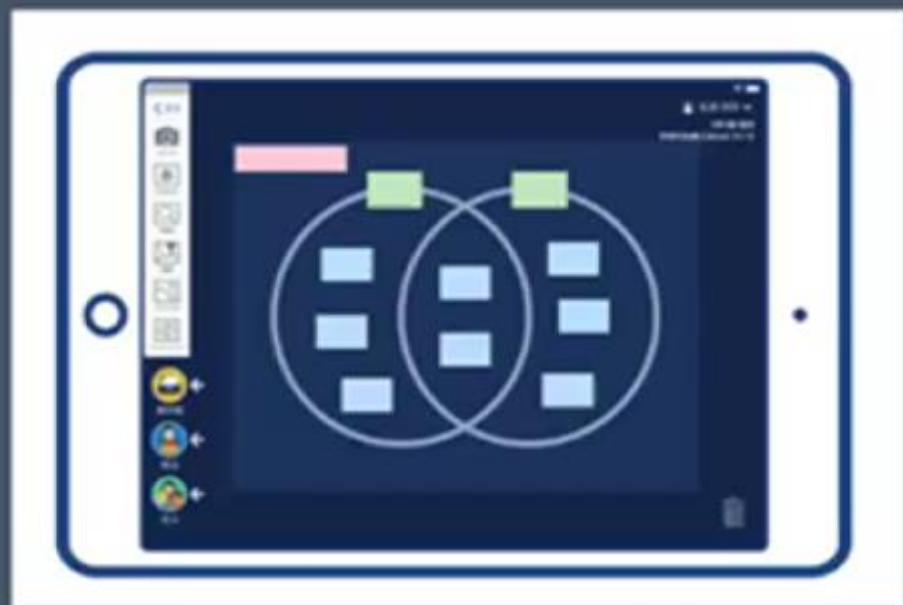
Row 1:

- 生徒A:** これから夏に迎え、光が強くなり教室が明るくなる。その上、さらに電気を使うと明るすぎるという声が上がる時があるのでその時は電気無しても大丈夫なので使う時を減らす。
教室移動の時は忘れずに消す。
- 生徒B:** 教室で人がいない時は電気や扇風機を消す。
パソコンの電源を消す。
- 生徒C:** 一人一人が学校や家で出来ること
・部屋から出る時や使わない時は電化製品の電源をOFFにすることを心がける。
・なるべく長い時間で電気を使わないようする(早く寝るなどの工夫)
・電化製品に低電力機能が有れば使うようにする。

Row 2:

- 生徒D:** 天気が良い日は太陽の光で照明の代わりにする。
自己発電(現実では難しいかも?)
これから暑くなるから窓を開けて風通しを良くする
使わない電化製品はコンセントを切る。
- 生徒E:** 教室で誰もいなかったなら電気を消す。
- 生徒F:** (No visible content)

Each row has a small grey bar at the bottom labeled with the student's name (e.g., 生徒A, 生徒B). The interface includes various buttons like '終了' (End), '編集' (Edit), and '配信停止' (Stop Distribution).



カードの送受信

思考ツール上にカードを置くことで、考えを可視化。
カードを教師・生徒間で送受信できます。

ロイロノート・スクールの実践

「シンキングツール」で思考を可視化

例 1

生徒それぞれが「カード」に入力



「シンキングツール」上にカードを置き、思考の可視化

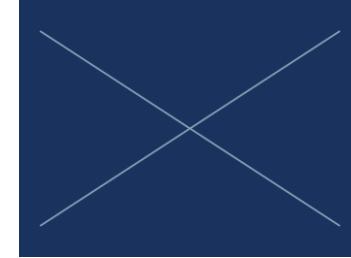


良かったこと	改善点	次回に向けて
<p>結論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交説内容が手話クイズで良かったとみんな発表して思っていた。 ・大学生を楽しませることができて嬉しかった。 <p>内容が手話クイズでよがったと思う！</p> <p>手話をクイズ形式で渡して通り上がれたかねと思います。それと一部に手話についての問題が書かってこれたなと思いました。</p> <p>大学生のみんなが楽しんでいたという言葉をもらいました。 楽しんでもらえてよかったです。</p> <p>手話を通じて他の学年の手話をどうやるの?と興味をもってくれた</p> <p>はい練習をしていない状態で、クイズをしたけれど、番号とスムーズに進めることができた。</p> <p>ピア生のウケが良かった。 手話の出来を教えると、「なるほど！」と良い反応があった</p>	<p>結論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答数を減らし、この手話についての説明をする時間を作れる。 ・難音不容易でスムーズに進めることができなかつたから難音や確認するべき。 <p>なぜ、を必ず下で問題が書いていてしっかりと読み直して復習が必要だなって。</p> <p>わからそうともわかるかなな問題を聞いてみてもいいと思う。</p> <p>予定していた時間より5分ほど過ぎてしまっていた。もう一つのチームを待たせてしまった。</p> <p>ヒントを出す手足はなかったが、大学生の方々が少し困っているかなが答えが決まらなかつたため、ヒントを出すことにになった。</p> <p>時間管理や難易度選定をしておけば時間も短く済んだ感じだ。</p> <p>たとこ新しい授業があつてもらつたよ。</p> <p>見慣れをほら、何を聞くしても良くなかった。</p> <p>何よりもうれしくて、びっくりしてうれしく思えたのがうれしかったから、本当にうれしかった方がいいんだよ。</p> <p>練習しよう！！！！</p> <p>出すヒントを事前に考えたり相談できた。 早押し対決に変えたらもっと楽しめそう</p>	<p>まとめ</p> <p>■と他の交流に向けて</p> <p>・手話を教えるだけではなく、手話の解説も含めて教える。 (練習や役目の確認をしておく)</p> <p>・問題を減らして、知りたい単語の手話を聞いてそこから教える時間も作る。</p> <p>■高校にとって身近な物を手話で教えて交流してみるといいかも？</p> <p>・部活5教科の名前の手話を披露(そのほかでもあり)</p> <p>・シンキングタイムの制限時間はあらかじめ決めていないか左の手 計算時間は少し遅れが生まれてしまつた。</p>

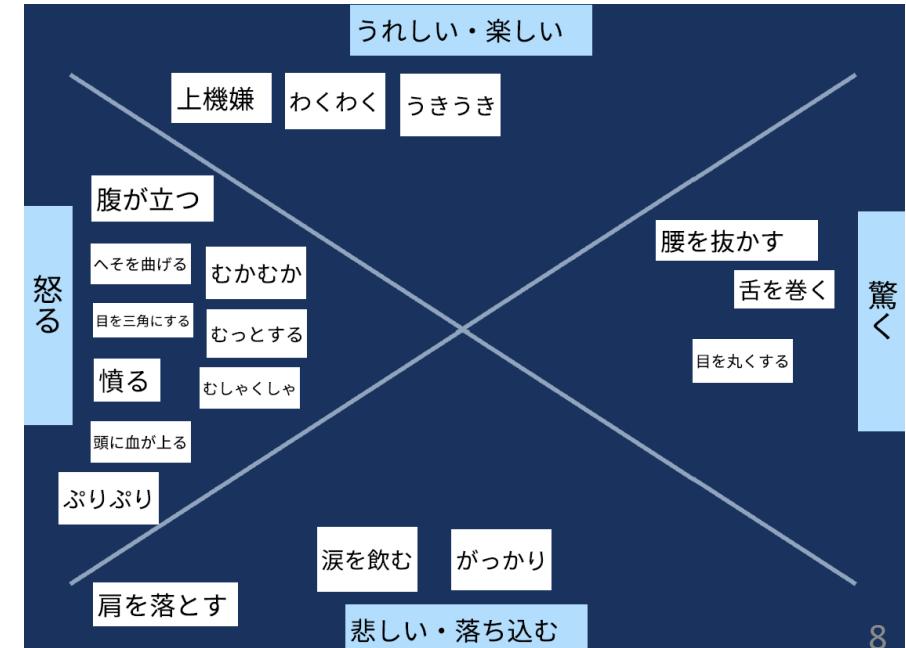
ロイロノート・スクールの実践

「シンキングツール」で思考を可視化

例2



シンキングツール上に「カード」を動かして同じ意味でグループ化



ロイロノート・スクールの実践

長期休業中の 学習計画表

<生徒>

学習計画表に一日の家庭学習時間
時間を記入

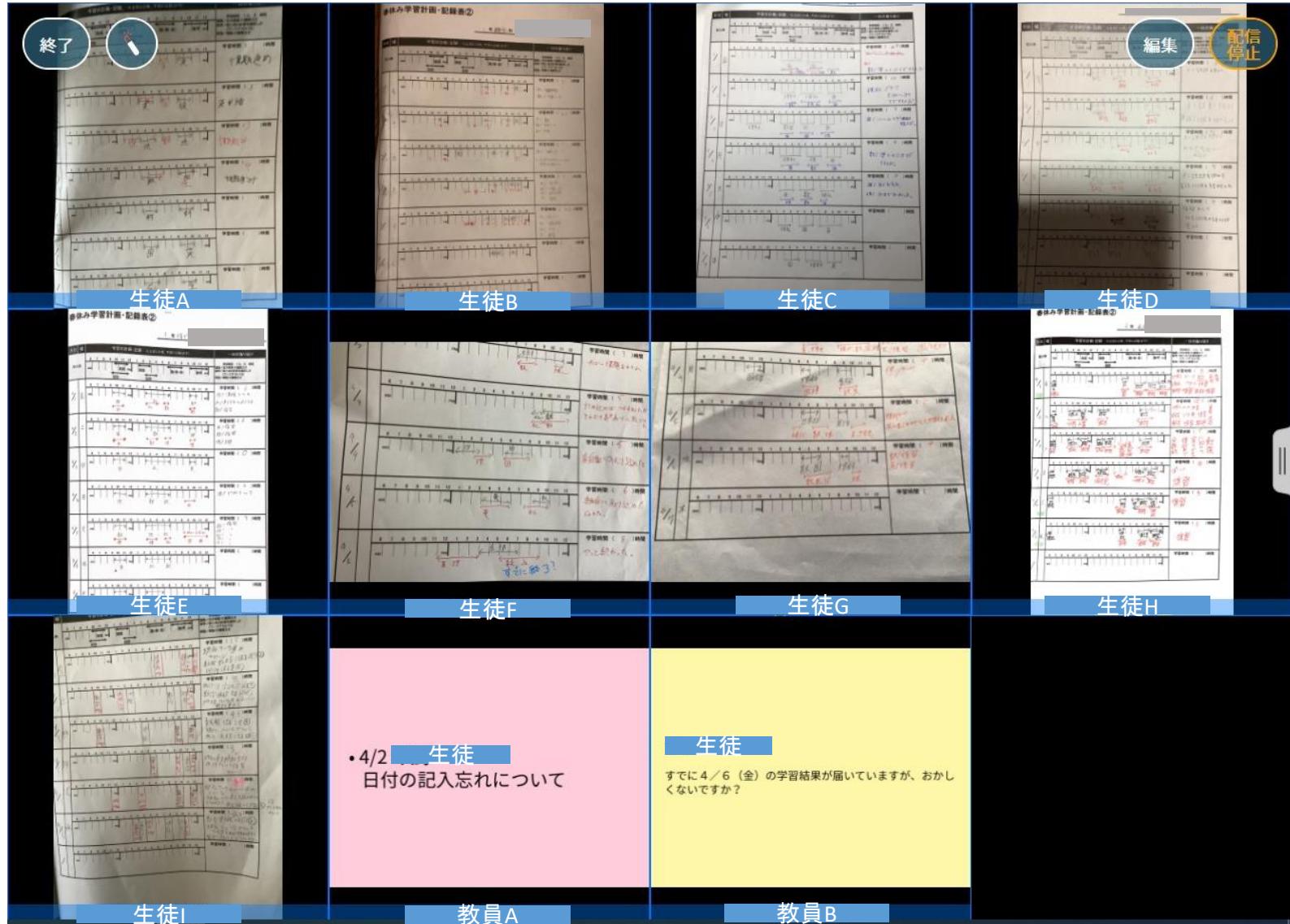
↓
タブレットで撮影

↓
撮影した画像をロイロノートス
クールを使って毎日提出

<教員>

学習状況をリアルタイムで把握

↓
未提出者へロイロノートで連絡



ロイロノート・スクールの効果

ロイロノート・スクールの効果

Before

- 聴覚口話や手話によつて、やりとりがたまにあいまいな部分がある。
- プリントや提出物の管理が大変。
- ワークシート等教材準備に時間がかかる。
- 聾学校は少人数なので、様々な人の意見を聞くことができない。



After

- 文字を使った確実なやりとりが可能になった。
- データ管理・ペーパレス化の実現。
- 教員間で教材の共有。授業準備時間の短縮。
- 感想や意見のカードをそのままデータ保存しておくことで、先輩の感想や意見を参考にできる。

